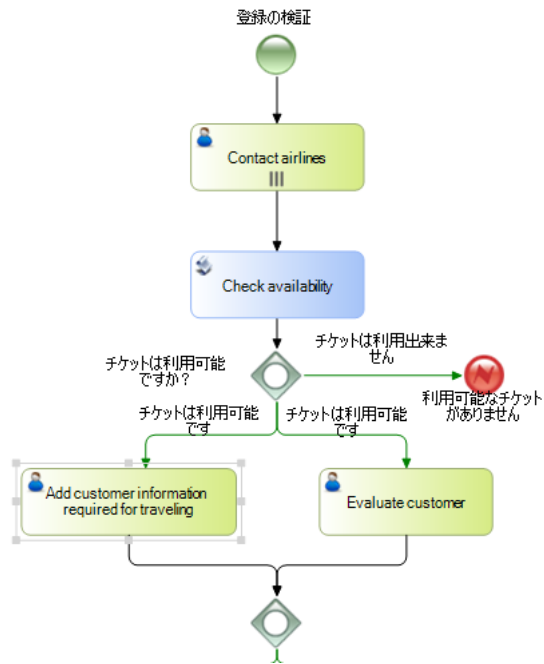


ドキュメントの操作

GeneXus オブジェクトを予約検証ダイアグラムのタスクに関連付けていくと、同時に実行する必要がある対話型タスク「Add customer information required for traveling」と「Evaluate customer」が実行されます。



まずは旅行に必要な情報を入力します。

これは、ドキュメント、ワークシート、テキストファイル、画像、圧縮ファイルなどのユーザーデータを
含むファイル进行处理する必要があることを意味します。

ワークフローエンジンは、ダイアグラムに関連付けられたものを保存するための必要なメカニズムと、そ
れらの制御およびアクセスセキュリティを提供します。

GeneXus BPM で処理されるドキュメントの種類は次のとおりです。

GeneXus™

Types of Documents:

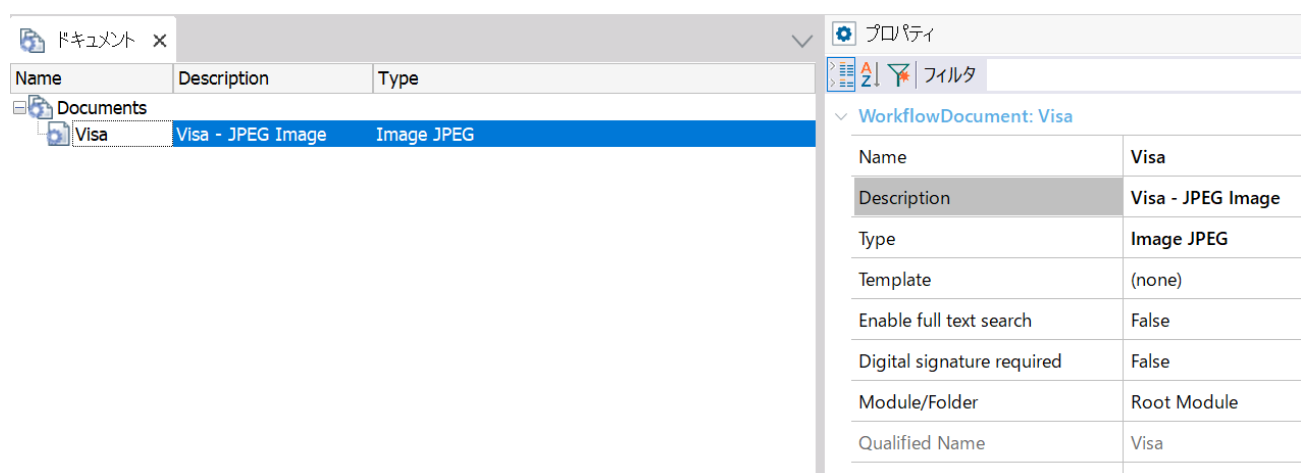
- Microsoft Word, Excel, Power Point
- PDF
- Open Office: Text, Spreadsheet, Presentation
- StarOffice: StarWriter, StarCalc, StarImpress
- Images: JPG, BMP, GIF
- Text
- XML
- ZIP
- Other



プロセスダイアグラムでドキュメントを使用するには、まずナレッジベースレベルで定義する必要があります。これを行うには、GeneXus で「設定」ウィンドウを開き、「ワークフロー」を選択して「ドキュメント」をダブルクリックします。

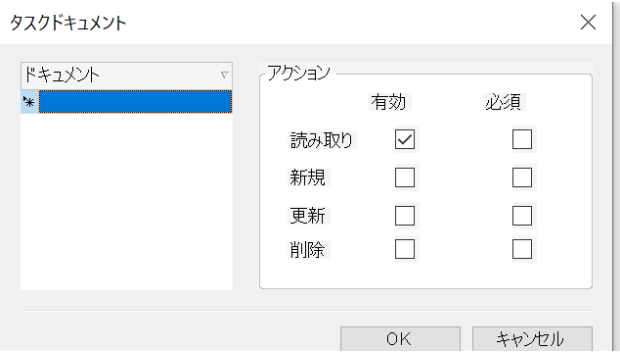
タスクでは乗客のビザを入力する必要があるとします。これは JPEG 画像になります。

Enter キーを押下し、ドキュメント名とディスクリプションを入力し、「Type」プロパティで「Image JPEG」を選択します。

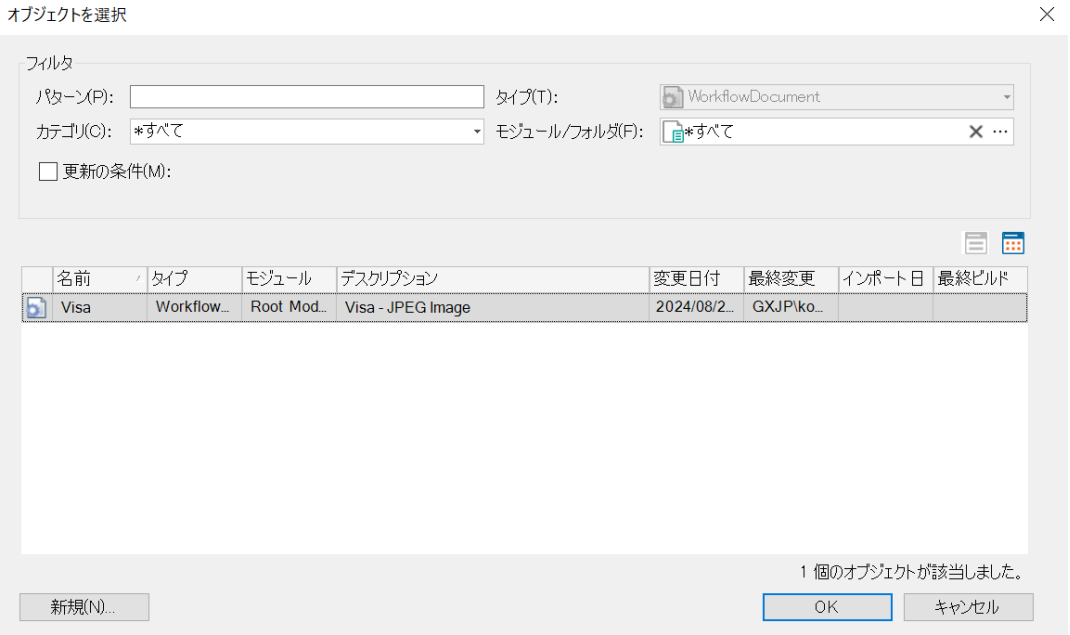


次に、ドキュメントをタスクに関連付ける必要があります。これを行うには、「ValidateReservation」ダイアグラムを開き、タスク「Add customer information required for traveling」をクリックし、「Work with documents」プロパティを「True」に設定します。

「Documents」プロパティで「...」ボタンをクリックすると、事前に定義したドキュメントを選択するためのダイアログが表示されます。



ドキュメントセクションの「...」ボタンをクリックして「Visa」というドキュメントを選択します。



OK をクリックします。

これで、このドキュメントに対して様々なアクションを選択し、それらが必須かどうかを選択できます。

この例では、VISA の画像の入力が必須となるため、新規では有効と必須のボックスを選択します。また、情報を編集する必要がある場合に備えて更新アクションも選択しますが、必須として設定しません。

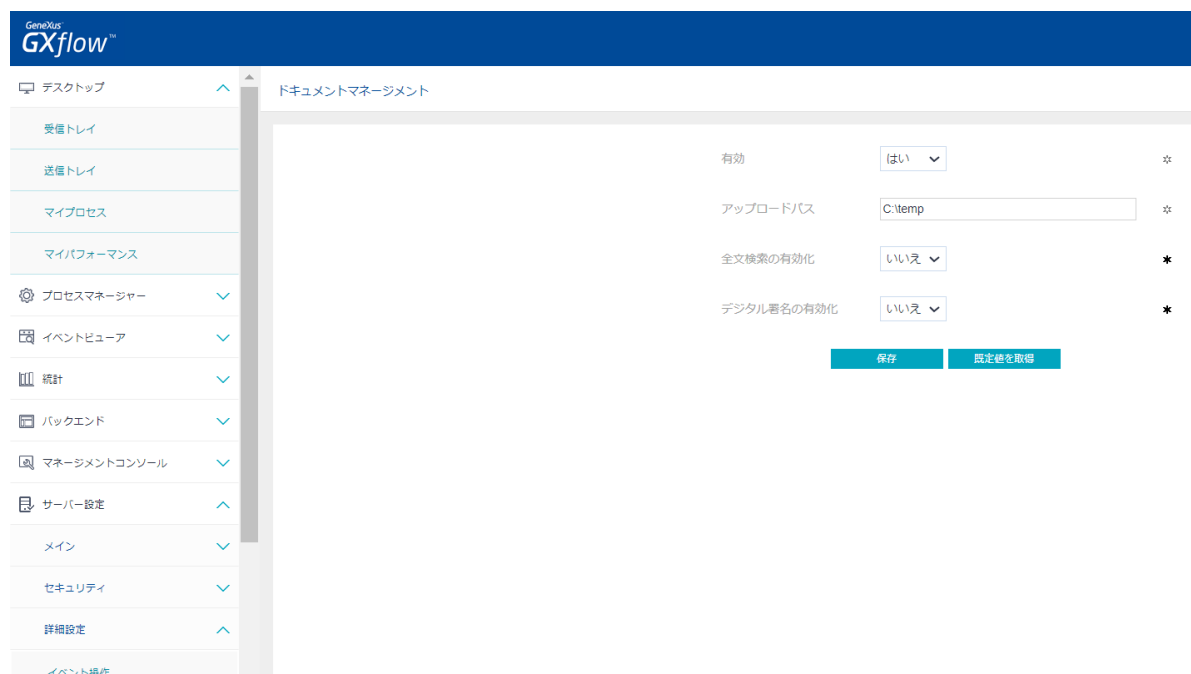
	有効	必須
読み取り	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新規	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
更新	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
削除	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

これらの手順は、予防接種記録、身分証明書、旅行保険など、旅行に必要な書類を確認するタスクで入力する必要があるさまざまな書類に対して繰り返すことができます。

これまで見てきたことに加えて、GXflow クライアントでいくつかのオプションを設定する必要があるの
で、メインプロセス「FlightTicketReservation」を開いて実行します。

サーバー設定、詳細設定、そしてドキュメントマネージメントをクリックします。このウィンドウで「有効」を「はい」に設定します。

いくつかのオプションがウィンドウに展開されます。「アップロードパス」に「C:\temp」フォルダを指定し、残りの設定はデフォルト値のままにします。「保存」をクリックします。



受信トレイに戻ります。「Evaluate Customer」と「Add customer information required for traveling」というタスクが表示されるまで実行します。

最後のタスクを見ると、関連する文書があることを示すペーパークリップアイコンがあることがわかります。



複数のドキュメントが関連付けられているダイアグラム タスクに GeneXus オブジェクトが関連付けられていない場合、そのタスクを実行すると、ドキュメントを操作するためのアプリケーションが開きます。

「Add customer information required for traveling」タスクにオブジェクトが関連付けられていないため、これが該当します。実行すると、次のウィンドウが開きます:

付随するドキュメント

新規 確認 チェックイン チェックアウト 他のアクション ▼

名前	作者	作成日時 ▼	更新日時
----	----	--------	------

最初 / 戻る / 次へ / 最終

ドキュメントに定義されたアクションに応じて、さまざまなオプションが表示されます。この場合、管理者ユーザーとしてログインしているので、すべてのアクションを実行できます。

新規ドキュメントを作成するには、「新規」をクリックし、名前を付けて、ドキュメントのタイプを選択し「OK」をクリックします。

新規ドキュメント

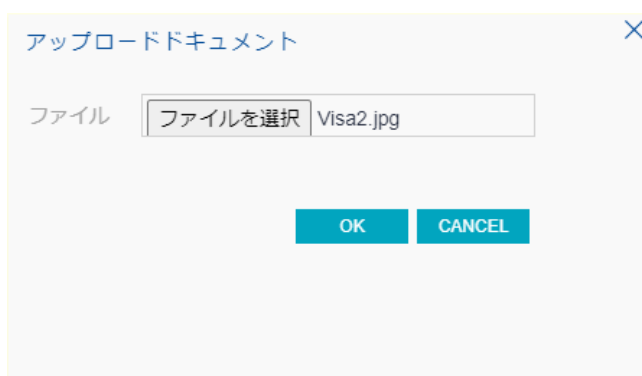
名前

タイプ Visa ▼

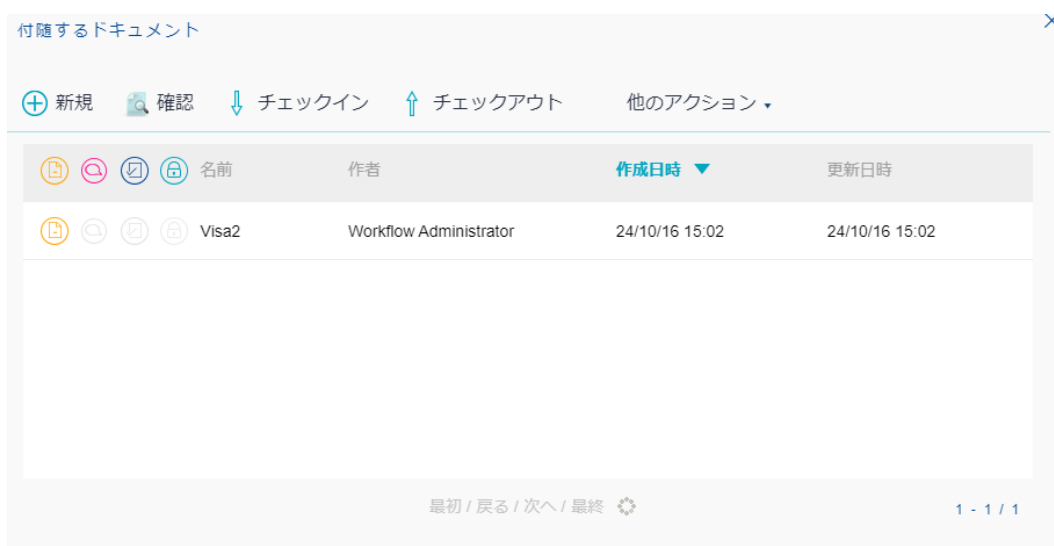
☐ ファイルからコピー

OK CANCEL

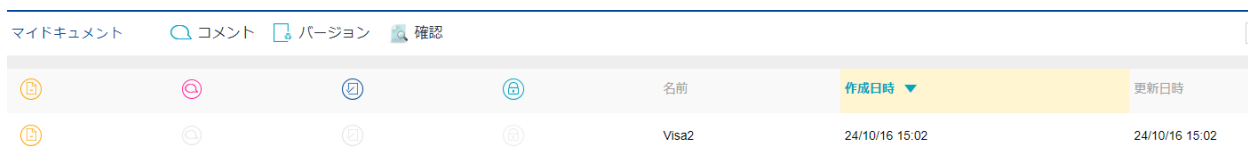
次に、ディスク上にあるファイルを選択し、「OK」をクリックして読み込みます。



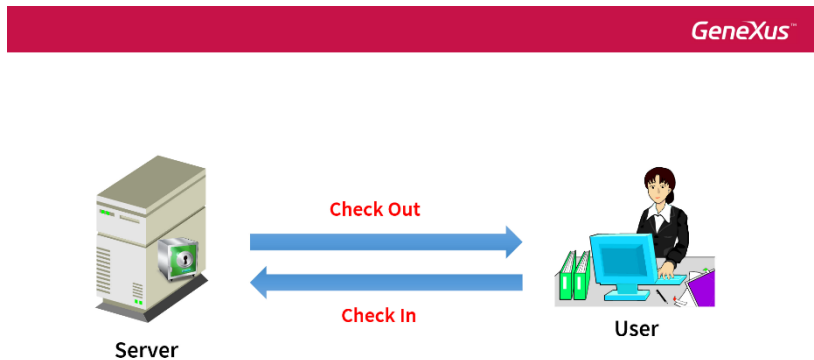
読み込んだドキュメントが「ドキュメントの操作」ウィンドウに表示されているのがわかります。



デスクトップメニュー内のマイドキュメントに移動すると、作業したすべてのドキュメントが表示されます。

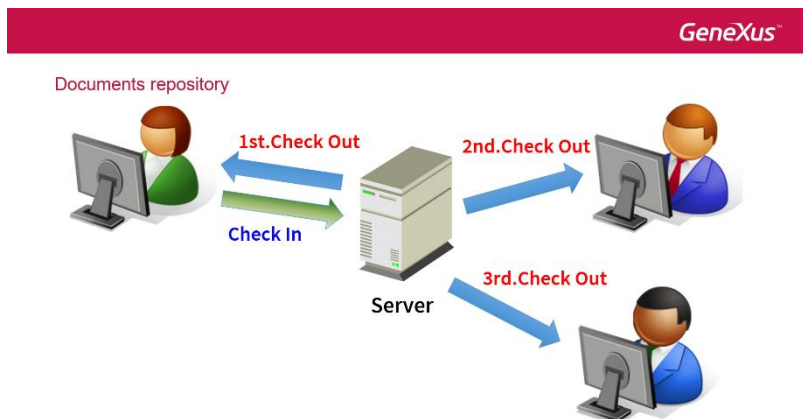


GXflow エンジンがドキュメントリポジトリを管理することに注意してください。ドキュメントが読み込まれると、このリポジトリに追加されます。



ユーザーがドキュメントを変更するには、チェックアウトタスクを実行する必要があります。チェックアウトタスクを実行すると、ユーザーは作業中のドキュメントのローカルコピーを取得し、編集が終了したらチェックイン操作を実行する必要があります。この方法では、変更がリポジトリに保存され、ドキュメントの新しいバージョンが生成されます。

チェックアウトした最初のユーザーだけがこのファイルのチェックインを行うことができます。他のユーザーはチェックアウトしてファイルを読み取ることができますが、ファイルを取得した最初のユーザーが変更内容をサーバーに送信するまでチェックインを行うことはできません。



管理者ユーザーのみがドキュメントマネージャを開いてその他のアクションを選択することでチェックアウトをキャンセルできます。サーバーにアップロードされたドキュメントはデジタル署名できます。

GeneXus™

Digital signed documents



この機能は、ドキュメントの整合性（つまり、ドキュメントが改ざんされていないこと）を保証し、署名がユーザーによって行われたことを確認します。

ドキュメントを認証する証明書により、有効期間の開始日と終了日を割り当てることができます。